



2022年度

学校推薦型選抜  
〔スポーツに優れた者の推薦(公募)〕

**募集要項**

# 本学の教育的使命と推薦入学制度

東北学院大学長 大 西 晴 樹

東北学院が創立されてから今年で135年になります。この間、一貫して受け継がれてきたもの、そして、今後も受け継いでいこうとするもの、それは、キリスト教主義に基づく教育という建学の精神です。

このことは、全学的にキリスト信徒を養育することを目的としているのではなく、聖書の教えに裏打ちされたキリスト教文化の持つグローバルな価値の伝達と理解、それらを基礎とした人間形成を主たる目的にしています。そして、しっかりとした人格形成とともに、それぞれの専門分野において社会に貢献できる能力を備えた人材の育成を教育的使命としております。

本学は、人文社会系から理工系までカバーする総合大学として、多様な能力ある学生諸君に、それぞれの内在する能力を十分に発揮する機会を提供したいと考えております。「学校推薦型選抜」はその一環であり、過去に一定の志願実績をもつ高等学校から学業に優れているとして推薦された者、また資格取得で優れているとして推薦された者、全国の高等学校から心身健全でスポーツに優れているとして推薦された者、文化活動に優れているとして推薦された者、そして優れたキリスト信徒等として推薦された者を対象としてそれぞれ実施するものであります。

それぞれの分野において、優秀な方々の志願を期待しております。

## 新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、募集要項等に記載されている内容（選抜の方法・日程・会場など）に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

## 個人情報について

出願時にご記入いただいた個人情報および試験結果については、厳重に管理します。以下の場合を除き、個人情報をどのような形式であれ利用することはありません。

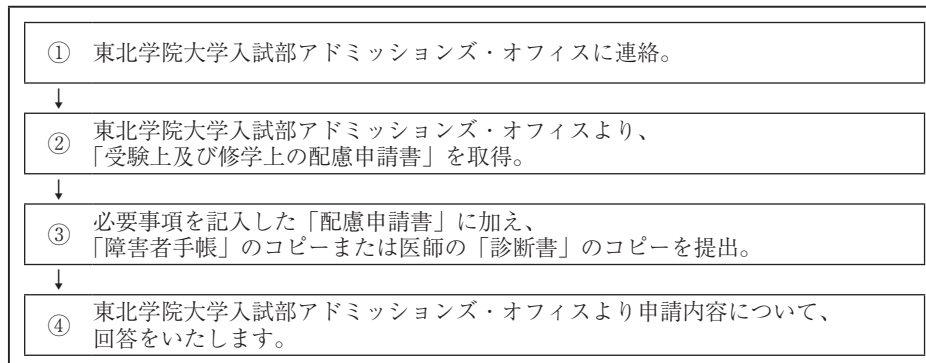
- あなたの入試結果について、出身校の先生の要望により、お知らせする場合があります。その際には、当該試験での受験生全体でのおおよその順位などについて、文書での提供ではなく口頭での説明を行うこととします。
- 入学生の入試結果を、本学における教育の目的で利用することがあります。その場合には、統計データとしての処理を主とし、個人情報については、学内規程により特に許可された場合のみ、厳しい管理基準を遵守のもと、当該学部等に提供することとします。

## 受験上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な場合、出願前（入学検定料納入前）のできるだけ早い時期に必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。また、入学後、修学上の配慮を希望する場合も必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。場合によって、本学のキャンパスを見学することもお勧めいたします。

申請の流れは下表に従ってください。必要な場合、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承をお願いいたします。

### 【申請の流れ】



提出書類	「受験上及び修学上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピー
申請期限	出願前のできるだけ早い時期に申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

# 東北学院大学の3つの方針

## ①入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（学修への態度）
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。（学修への態度）
3. 高等学校における学習によって、基礎的英語力及び入学しようとしている学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）
4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／学修への態度）
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（学修への態度）

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点											
		本学が実施する各入試は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜※	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学業成績による推薦	資格取得による推薦	キリスト教者等推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG推薦	帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		
文学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 文学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○
	3. 高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。または、英語熟達度テストにおいて一定程度の英語力を持ち、文学部における学修にその強みを生かそうとしている。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎				
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎
経済学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学修すべき基本的事項について知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の経済」「現代社会の諸問題」で学習すべき基本的事項については正しい知識を持つとともに、それらに関する社会事象について学ぼうとする関心・態度をもっている。（知識・技能／学修への態度）	知識	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎
		関心・態度	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		文章	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎	
経営学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○
	2. 経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経営学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3. 企業や社会に関して、高等学校の社会科科目ないし商業科目の教科書が扱う水準の知識があり、それらに関してさらに学ぼうとする関心と意欲をもっている。（知識・技能／学修への態度）	知識	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎
		関心・態度	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		文章	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	口頭	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎	

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点 (3ページ参照)												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
法学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項の知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の政治」で学習すべき基本的事項について正確な知識をもつとともに、それらに関する社会の事象について学ぼうとする関心及び態度をもっている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）	知識	○	○	◎	◎		○	○	○	◎	○	○	
		関心・態度	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき水準の英語力がある。（知識・技能）	知識	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		口頭			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後もその分野で課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）								◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）										◎	◎	◎		
工学部	1. 東北学院大学の建学の精神と教育理念を理解し、工学部における学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度/学修への態度） （機械知能工学科） 機械を学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を有するとともに、社会の一員としての自覚を有している。 （電気電子工学科） 電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系に関する広い知識の習得に意欲があり、これらの分野の学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。 （環境建設工学科） 環境、土木、建築分野で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意志があり、これらの分野の技術者として、社会への貢献を希望している。 （情報基盤工学科） IT分野に強い関心があり、本学で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を十分に持ち、継続的計画的に学習を続ける心構えと高い意欲を有している。													
		3. 高等学校における学びによって、「数学」と「理科」で学習すべき基本的知識を有している。（知識・技能/思考力・判断力・表現力）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
		4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/学修への態度）							◎	◎					
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能/学修への態度）				○						◎	◎	◎	
教養学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）	○	○	○	○		◎	○	○	◎	○	○	○	
	2. 教養学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、教養学部及び各学科での学びを強く望んでいる。 人間科学科では、人間に対する探究心をもち、学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。 言語文化学科では、母語及び2つの言語について学ぶ意欲を強く持つとともに、言語と文化をめぐって探究する諸分野についての確な理解と興味を有している。 情報科学科では、情報の起源や特徴などの本質に関して学んだのち、情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を修得し、情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの分野での活用を学ぶことを強く望んでいる。 地域構想学科では、「よりよい地域づくり」に強い関心と意欲を持ち、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できる。 （主体的に学ぶ態度）						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能）	○	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○
		4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）	文章	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		口頭			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）							◎	◎					
7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）				○						◎	◎	◎		

※ 一般選抜前期B日程では、英語資格・検定試験の公式スコアを利用できます。



## ②学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。  
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。  
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力（コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど）及び英語力を身につけ、活用することができる。
3. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。  
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
4. 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。  
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
5. 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。  
地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

## ③教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果（以下「学修成果」という。）を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1～3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
4. 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。
5. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
6. 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
7. 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
8. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

## 学科の理念・目的、求める学生像

### 英文学科

#### 理念・目的

国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
3. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。
4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

### 総合人文学科

#### 理念・目的

キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。
2. 十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。
3. 社会に対して強い関心を持ち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。
4. 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心を持ち、本学科での勉学に強い意欲を有している。

### 歴史学科

#### 理念・目的

広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。

#### 本学科の求める学生像

1. 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。
2. 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。
3. 歴史に関する基礎知識を有している。
4. 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。

### 教育学科

#### 理念・目的

人がよりよく生きるための学びと人間の成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
3. 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。
4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

### 経済学科

#### 理念・目的

時代に流されず、将来を見通す経済社会の理論とスキルを身に付けられるように基礎理論から段階的に現実の問題や政策を学習する。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考えられ自分の意見を明確に主張することができる。
2. 現代社会の動きに強い関心を持ち、それについて深く調べたいと考えている。
3. 社会とは何か、特に経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲をもっている。
4. 本学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしている。

### 共生社会経済学科

#### 理念・目的

経済学のエッセンスを学びながら、年代や性別、ハンディキャップ、民族・文化の異なる多様な他者への理解を深め、共に生きる発想に基づいて、新たな社会経済システムを構想し実践できるような人材の育成を目指す。

#### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。
2. 本学科で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現することができる。
3. ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に対して積極的に取り組もうとする意欲をもっている。

## 経営学科

### 理念・目的

経営学の知識を使って、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、よきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り開いていくことのできる能力を養う。

### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有している。
2. 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。
3. 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。

## 法律学科

### 理念・目的

法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。

なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。

「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」“Think legally, for human dignity”

### 本学科の求める学生像

1. 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。
2. 本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識をもっている。
3. 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっている。
4. 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。

## 機械知能工学科

### 理念・目的

人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。

### 本学科の求める学生像

1. 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。
2. 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぼうとする意欲を有している。
3. 本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。

## 電気電子工学科

### 理念・目的

電気電子工学の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を育成する。

### 本学科の求める学生像

1. 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。
2. 先端科学技術に強い関心を持ち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。
3. 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。

## 環境建設工学科

### 理念・目的

1. キリスト教精神に基づく、倫理観を備えた人格を形成する。
2. 社会人として必要な教養を身に付けるとともに、環境工学の素養を持った中堅の建設系技術者を養成する。
3. 特に、技術者として具備すべき基礎学力を有し、基礎的専門知識を着実に修得した実践型の技術者となる学生を育成する。

### 本学科の求める学生像

1. 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。
2. 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。
3. 社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的な生活習慣を身につける意欲を有する。

## 情報基盤工学科

### 理念・目的

社会基盤となる情報・通信工学技術を発展させ、人類の福祉に応用するという工学の使命に基づき、これらの原理を数学の基礎から徹底して学び、変化の激しいICT (Information Communication Technology) 分野において未来を切り拓くことのできる技術者を育てる。

### 本学科の求める学生像

1. 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有している。
2. IT分野に強い関心を示し、関連分野の知識を習得する意欲を有している。
3. 本学科で学ぶ心構えと意欲をもち、かつ計画的な学習活動を行うことができる。

## 人間科学科

### 理念・目的

人間を多角的・実証的に捉える力を育てる。

### 本学科の求める学生像

1. 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解できる基礎的な学力を有している。
2. 人間や社会の問題を実証的に分析する上で基礎となる数学的な思考力を備えている。
3. 自分の興味関心と将来の目標について、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。
4. 人間に対する探究心をもち、本学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。

## 言語文化学科

### 理念・目的

1. 多言語・多文化を通して人間を考える。
2. 人と人をつなぐ人になる。

### 本学科の求める学生像

1. 英語をはじめとした十分な基礎学力を有している。
2. ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかについて、第二外国語として学ぶ強い意欲を有している。
3. 自分の考えや興味関心について、筋道を立てて説明することができる。
4. 言語と文化をめぐって探求する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化(衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など)や表現文化(文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など)について、明確な理解と興味を有している。

## 情報科学科

### 理念・目的

ITスキルを身につけた教養人を養成する。

### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報システム系、数理学系、自然科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。
2. 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。
3. 他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。
4. 本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。

## 地域構想学科

### 理念・目的

グローバルな視野を持って、よりよい地域をつくる人材を育てる。

### 本学科の求める学生像

1. 十分な基礎学力を有している。
2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。
3. 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。
4. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にかかわっていかこうとする明確な目的と意欲を有している。

## 目 的

本学の伝統・学風を理解し、それらを継承する意欲を持った学生を入学させるという学校推薦型選抜の趣旨に基づいて、学校長からスポーツで優れた技量、指導性を発揮した者について推薦をうけ、入学者を選抜します。

## 募集定員

学 部	学 科	定 員	学 部	学 科	定 員
文 学 部	英 文 学 科	4名	工 学 部	機 械 知 能 工 学 科	2名
	総 合 人 文 学 科	1名		電 気 電 子 工 学 科	2名
	歴 史 学 科	4名		環 境 建 設 工 学 科	2名
	教 育 学 科	1名		情 報 基 盤 工 学 科	2名
経 済 学 部	経 済 学 科	30名	教 養 学 部	人 間 科 学 科	7名
	共 生 社 会 経 済 学 科	12名		言 語 文 化 学 科	6名
経 営 学 部	経 営 学 科	19名		情 報 科 学 科	6名
法 学 部	法 律 学 科	20名		地 域 構 想 学 科	7名

※ 定員全体（125名）中49名は強化指定種目の定員とします。

## 出願資格

次のすべてに該当する方です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2022年3月卒業見込みの方
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.2以上の方
- (3) 東北学院大学における志望学部での勉学に励み、かつ入学後、出願する本学体育系クラブでのスポーツ活動を継続する意思を持つ方
- (4) スポーツ実績が、次に掲げる基準のいずれかに該当する方
  - ① 全国大会もしくは広域大会出場の成績をおさめた方、または同様の成績をおさめたチームの登録選手として出場した方。
  - ② 都道府県大会で8位以内の成績をおさめた方、または同様の成績をおさめたチームの登録選手として出場した方。
  - ③ (チームスポーツにおいて) 所属するチームが上記①②の競技成績を残せなかった場合でも、そのクラブの指導者が、上記と同等以上の競技能力を持っていることを証明できる方〔所属クラブ指導者による記録証明書等（任意書式）〕。

[注意]

- 1) 全国大会とは、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）及びそれに準ずる大会、国民体育大会を指します。
- 2) 広域大会、都道府県大会とは、全国大会の予選（県高総体等）や、県大会を経た広域大会（東北大会、関東大会等）を指します。
- 3) 国公立高等学校または私立高等学校だけの大会は出願基準の対象とはなりません。
- 4) 武道関係の競技種目については、流派だけの独自大会等は出願基準の対象とはなりません。
- 5) 学年別等、出場者が限定された大会等は出願基準の対象とはなりません。
- 6) 「アメリカンフットボール」は、アメリカンフットボール以外の競技実績を持つ方の出願も可能です。

※2022年度選抜の特例

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種のスポーツの行事や大会等が中止、延期又は規模縮小等がされている状況を考慮し、特例措置を設ける。

特例措置：出願資格(4)における競技成績を残せなかった場合でも、そのクラブの指導者が出願資格と同等以上の競技能力を持っていることを証明する場合は、出願資格(4)の条件を満たしたものと見なす。〔所属クラブ指導者による証明書・推薦書等（任意書式）を提出すること。〕

- (5) 学校長からの推薦による方

## 出願期間

2021年11月1日(月)～11月5日(金) 15時必着

※ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。



## 出願手続

出願手続は「インターネット上の出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の送付」を行う事で完了します。まず、本学ホームページよりWEB出願サイト ([https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online\\_application.html](https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/online_application.html)) にアクセスし、出願登録を開始してください。



### 出願書類

- (1) **入学志願票** インターネット上で出願登録をし、「入学志願票」を印刷の上、提出してください。
- (2) **出身学校の調査書**  
最近3ヵ月以内に学校長が作成し、かつ厳封したもの（開封無効）。
- (3) **写 真** 1枚（タテ4cm×ヨコ3cm）カラー・白黒とも可。上半身脱帽、最近3ヵ月以内に撮影したものを(4)の「スポーツに優れた者の推薦志願書」に貼付してください。なおインターネット上で出願登録をする際、写真データが必要となります。

下記書類は本学ホームページより取得し、提出してください。

- (4) **スポーツに優れた者の推薦志願書**  
クラス担任・クラブ顧問が作成し、学校長が証明したもの（記載内容は13ページ参照）。
- (5) **各種推薦型選抜 志望理由書**  
本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- (6) **誓 約 書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用い、記入してください。
- (7) **推 薦 書** 本学所定の用紙（本学ホームページより取得）に学校長が作成し、かつ厳封したもの。
- (8) **スポーツの活躍の記録**  
本学所定の用紙（本学ホームページより取得）を用いて、本人が作成してください。(4)の「スポーツに優れた者の推薦志願書」に記載した「主な戦績・記録」について、必ず資料を添付してください。  
なお、**スポーツの活躍の記録の注意**をよく読んで、作成してください。  
※書類予備審査で提出した「主な戦績・記録」の内容と同じ場合は、スポーツの活躍の記録にある「書類予備審査で提出した内容と同様です」にチェックボックスを入れ、ご提出ください。その場合は資料を貼付する必要はありません。

### 《出願上の注意》

- (1) 出願書類は必ず簡易書留速達郵便で、受付期間内に必着するようアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
- (2) 出願書類の記載については、誤りのないよう正確に入力してください。もし誤りがあった場合には、出願書類を受理しないことがあります。
- (3) いったん納入された入学検定料及び提出された書類は、いかなる事由があっても返還しません。
- (4) 受験票が取得可能になると、メールおよびWEB出願サイトのマイページに通知されます（試験日の約7日前）。マイページから受験票を取得して印刷してください。  
受験票は本学から郵送しません。

### 入学検定料 30,000円

入学検定料は、クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアでの納入となります。金融機関窓口からの納入はできません。

## 選 抜 方 法

書類審査、小論文、面接、スポーツテストにより総合的に選抜します。

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配 点	200	100	100	400

- (1) 小論文
  - 【文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部】  
与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分/800字程度)
  - 【工学部】  
与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分/600字程度)
- (2) 面接  
面接試験担当者による個人面接。時間は5～10分程度。
- (3) スポーツテスト  
「スポーツ実績の評価等に関する書類予備審査」を受けていない方に限り実施します。  
専門種目の技能についてテストを行います。該当者は、携行品・服装を用意してください。

### スポーツテストにおける携行品・服装

「スポーツ実績の評価等に関する書類予備審査」を受けていない方は、以下の携行品・服装を用意してください。

- ① 各専門種目の技能テストに適した服装・各自の専門運動具を携行してください。
- ② 下記の専門種目を受験する方は、運動に適した服装・室内用シューズを携行してください。  
水泳、馬術、山岳、スキー、スケート、ヨット、ボート、自転車、  
スキューバダイビング、アメリカンフットボール、ゴルフ、ボウリング

[注意] 当日、けが等でスポーツテスト受験不可能の場合には、本人が医師の診断書を持参し指示を受けてください。

## 試 験 日 ・ 試 験 場 ・ 試 験 時 間

試験日	試験場	試験時間			
		集 合	小論文	面 接	スポーツテスト
11月18日(木)	泉キャンパス 【文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部】	10:30	11:00～ 12:00	13:00～	13:30～ [注意] 該当者のみ実施
	多賀城キャンパス 【工学部】				

[注意] 「スポーツに優れた者の推薦書類予備審査」を受けていない方は、面接終了後にスポーツテストを行います。  
工学部受験者で該当する方は、面接終了後に本学の車で泉キャンパスのスポーツテスト試験場へ移動します。

### 《受験上の注意》

- (1) 受験票・筆記用具・時計等を持参してください。  
受験票を忘れた場合は、すみやかに係員まで申し出てください。  
時計は計時機能のみのものが使用できます。スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末等は使用できません。
- (2) 昼食は各自持参してください。
- (3) 試験日・試験場は受験票で必ず確認してください。
- (4) 試験開始30分以上遅刻した場合は、理由のいかんを問わず受験できないことを原則とします。  
ただし、自然災害などの不可抗力の事態がおきた場合は、特別の措置を講じることがあるので、すみやかにアドミッションズ・オフィスまで連絡して指示を受け、試験場到着後ただちに係員に申し出てください。

## 「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、授業開講日の毎朝10:25～10:45の20分間、本学礼拝堂において、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教を聞く大学礼拝が行われます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が対応いたします。

## 合格発表日

2021年12月1日(水) 14時

合格者には合格発表日に合格通知書を郵送します。

また、14時から合否照会システム(11ページ参照)を利用して、パソコン、スマートフォン、で合否を確認することができます。

なお、出願資格の(1)を「卒業見込み」で受験した方が、その資格を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

## 入学手続

入学手続は、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了となります。詳細は合格通知書に同封される書類にて確認してください。

### 入学手続期限

2021年12月21日(火) 15時必着 ※郵送・窓口受付

## 学生納付金等

[2021年度参考] (単位:円)

項目	学部 文学部英文学科・総合人文学科・歴史学科 経済学部・経営学部・法学部			工 学 部			文学部教育学科・教養学部		
	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計	入学時 納付金 (前期)	後期 (10月) 納付金	合 計
* 入 学 金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授 業 料	390,000	390,000	780,000	539,000	539,000	1,078,000	437,000	437,000	874,000
施設設備資金	90,000	90,000	180,000	115,000	115,000	230,000	110,000	110,000	220,000
工学部実習料				35,000	35,000	70,000			
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
学 納 金 計	<b>760,000</b>	490,000	1,250,000	<b>969,000</b>	699,000	1,668,000	<b>827,000</b>	557,000	1,384,000
後 援 会 費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
*同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同 窓 会 費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	1,200	0	1,200				1,200	0	1,200
工 学 会 費				500	0	500			
*学生会入会費	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000
学 生 会 費	6,000	0	6,000	8,000	0	8,000	6,000	0	6,000
諸 会 費 計	<b>30,200</b>	0	30,200	<b>32,500</b>	0	32,500	<b>30,200</b>	0	30,200
合 計	<b>790,200</b>	490,000	1,280,200	<b>1,001,500</b>	699,000	1,700,500	<b>857,200</b>	557,000	1,414,200

### 【注意】

- ① 2022年度入学生については、上記の金額が改定されることがあります。
- ② \*印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の学生納付金は入学後10月に納入することになります。
- ③ 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。
- ④ 入学翌年度からの学生納付金は、前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになります。

授業でノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続きの際にお知らせいたします。



## 合否照会システムについて

### 1. 利用方法

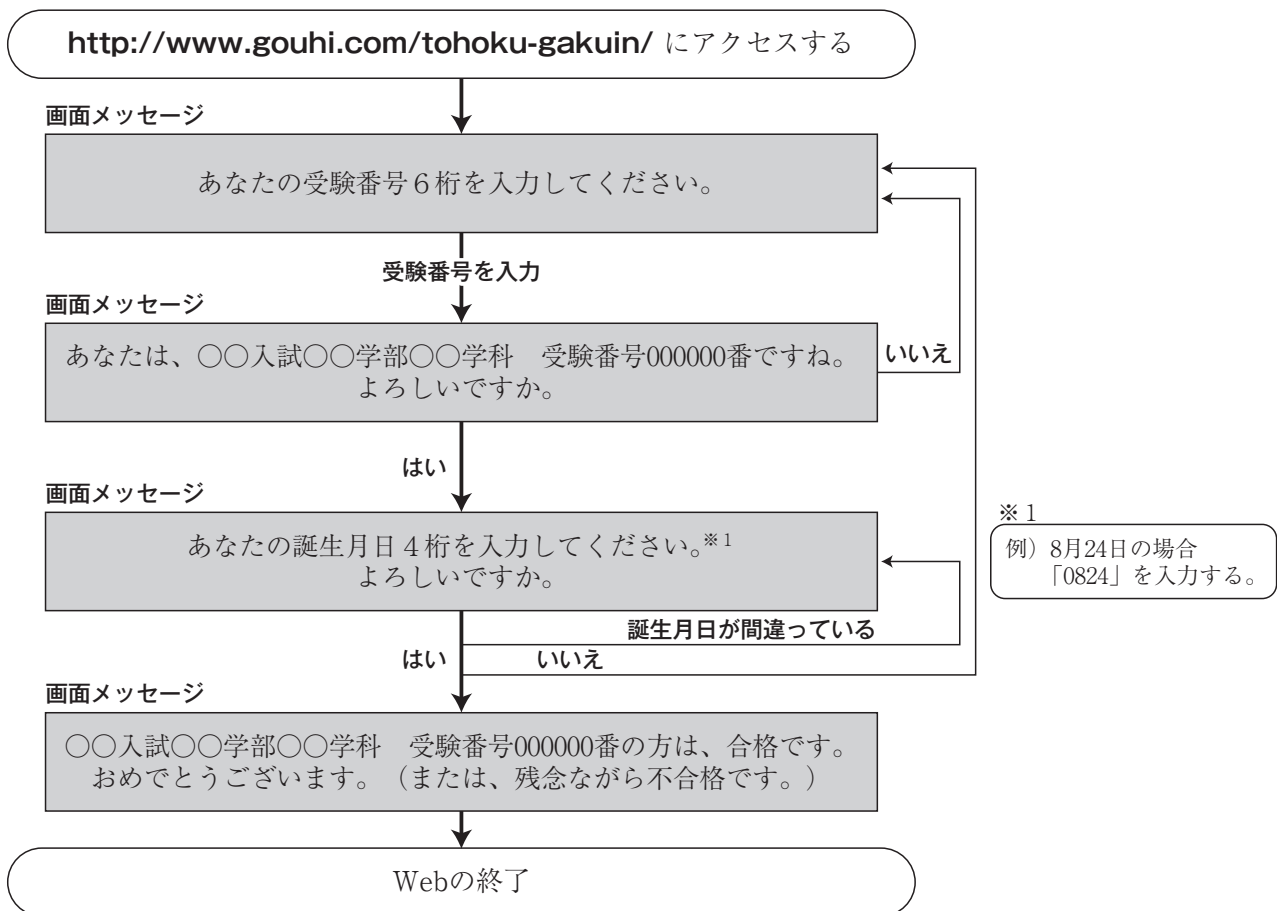
- (1) 本システムでは受験番号（6桁）と誕生日（4桁）を利用します。操作方法をご参考の上、ご利用ください。
- (2) 操作方法や受験番号等に関する問い合わせには応じられません。受験生本人以外の方が本システムをご利用の際は、必要事項をあらかじめ本人に確認・了承の上、ご利用ください。

### 2. 利用上の注意

- (1) 合格発表は、合格者宛に送付する合格通知書をもって正式なものとしします。
- (2) 本システムの「誤操作」や「聞き違い」等を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。
- (3) 本システムは、以下の期間のみ利用できます。  
2021年12月1日(水) 14時 ~ 12月5日(日) 17時
- (4) 合格発表日（合否案内開始直後）は、Webでの通信が遅くなったりする恐れがあります。そのような場合は少し時間をずらしてご利用ください。
- (5) 本学への電話等による合否や成績に関する直接の問い合わせには一切応じられません。

### 3. 操作方法

- (1) Webによる合否確認の方法（パソコン・スマートフォンでの確認方法）



# 出願にあたっての注意事項及びスポーツに優れた者の推薦志願書の記入例

1. 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格及び入学を取り消す場合があります。
2. 本学所定の志願書は、※印欄を除き漏れなく記入してください。

## 東北学院大学 スポーツに優れた者の推薦志願書

志望学部学科	経済 学部	受験番号	写真貼付欄 写真（正面上半身脱帽） 出願前3か月以内に撮影したものを、枠にあわせて貼付してください。 万が一はがれた場合のために、写真裏面には必ず氏名を記入してください。 (縦4cm×横3cm)
	経済 学科	※	
		審査番号	
		※	

フリガナ	ガク イン タロウ		性別	男・女
氏名	学院太郎		生年月日	(西暦)2003年 5月15日
出身校	宮城 都道府(県)・国(公)私立 〇〇高等学校		調査書	※
	(西暦)2022年3月 卒業見込・卒業		平均	※
現住所	郵便番号	980-8511	電話	022-264-6455
	宮城 都・道 府・県 仙台市青葉区土樋1丁目3番1号 青葉ハイツ203号室			
スポーツ種目	種目コード	ポジション・専門種目等	所有段位等	
バスケットボール	007	ポイントガード		
主 な 戦 績 ・ 記 録				出願資格(4)
都道府県	(西暦)2021年6月	大会名 宮城県高等学校総合体育大会	種目 バスケットボール	①~③を一つ記入
	成績・記録・活躍内容	第1位 スタートメンバーとしてプレイし、1試合平均15.6得点した。		②
広域	(西暦)2021年6月	大会名 東北高等学校選手権大会	種目 バスケットボール	①~③を一つ記入
	成績・記録・活躍内容	第3位 スタートメンバーとしてプレイし、1試合平均13.5得点、5.5リバウンドを獲得した。		①
全国	(西暦)2019年10月	大会名 国民体育大会	種目 バスケットボール	①~③を一つ記入
	成績・記録・活躍内容	ベスト8 宮城県選抜チーム(少年男子)の一員として参加。2試合に出場。1試合平均5.5得点した。		①

大学で活動を希望するスポーツ種目とコードを記入してください。文系志望者は「文・経済・経営・法・教養学部学生会体育会所属部種目」とします(14ページ参照)。工学部志望者は「工学部学生会体育部所属部種目」とします(14ページ参照)。

1. 記録について数字で表示できる競技については、それを記入してください。
2. 記録について「大会新」・「高校新」等の特記事項があれば記入してください。
3. 団体競技において、その大会の例えば「ベストナイン」に選出された等の特記事項があれば記入してください。
4. 「主将として参加」・「補欠として参加(その大会において選手登録されている場合に限る)」等の付記する事項があれば記入してください。
5. その他、特に記すべき事項があれば記入してください。

柔道・剣道のように段位等のグレードを表示できるスポーツにおいては、現在所有している段位等を記入してください。

団体競技においては主たるポジションを記入し、レスリング・競泳のようにスタイル・種目のある場合には、特に専門とする内容を記入してください。

出願資格(4)の該当する番号を記入してください(6ページ参照)。

- ※印欄は記入しないでください。
- スポーツ種目は高等学校・中等教育学校在学中に活動実績を有し、大学でも引き続き活動を希望する種目とコード(14ページ参照)を記入してください。
- 都道府県大会、広域大会、全国大会における最もよい戦績及び記録をひとつ記入してください。
- 広域大会、都道府県大会とは、全国大会の予選(県高総体等)や、県大会を経た広域大会(東北大会、関東大会等)を指します。
- 大会名は省略せず、必ず正式名称で記入してください。

「備考欄」の記入にあたって

1. 特に優れた技量、指導性、また校内活動等においても特記すべき内容があれば記入してください。  
 「例」国際試合の経験（海外遠征も含みます）、自己の公認最高記録、高校ランキング、生徒会活動、クラブ内における活動、クラス内における活動、その他。

学校既卒者は現在の状況を記入してください。

**学校既卒者の方のみ記入**：学校卒業後、スポーツはどこで続けましたか。

1. 実業団〔 〕の一員として      3. どこにも属さず自分で  
 2. クラブ〔 〕の一員として      4. その他〔 〕

1	(西暦) 年 月	大会名	種目
	成績・記録・活躍内容		
2	(西暦) 年 月	大会名	種目
	成績・記録・活躍内容		

備考欄

身長	体重	胸囲
176・0 cm	68・5 kg	95・0 cm

体 力 テ ス ト (出願前までに実施し記入してください)

1. 握 力	右	52.3 kg	5. 持久走または 20mシャトルラン (往復持久走)	5分01秒
	左	48.5 kg		折り返し数 回 (最大酸素摂取量 ml/kg・分)
2. 上体起こし	30 回		6. 50m走	5・7 秒
3. 長座体前屈	25 cm		7. 立ち幅とび	203 cm
4. 反復横とび	54 点		8. ハンドボール投げ	70 m

出願前までに実施し記入してください。

本書の各記載に誤りが無いことを証明する  
 2021年 月 日

所在地 〒      電話 (   )  
 FAX (   )

学 校 名  
 学 校 長 名

印 ←----- 学校長の印

記載責任者名 〔 1. クラス担任 2. クラブ顧問 3. 体育主任 4. その他 〕 (印)

記載責任者については、該当職名の数字を○で囲むか記入してください。

校印の押印がなされているか確認してください。

## スポーツ種目コード表

文・経済・経営・法・教養学部学生会体育会所属部 (38団体)

団体名	性別	強化指定	コード	
硬式野球部	男		001	
準硬式野球部	男	○	002	
軟式野球部	男		003	
サッカー部	男		004	
ラグビー部	男	○	005	
アメリカンフットボール部	男		006	
バスケットボール部	男	○	007	
	女	○		
バレーボール部	男		008	
	女			
ハンドボール部	男		009	
硬式テニス部	男		010	
	女			
ソフトテニス部	男	○	011	
	女	○		
卓球部	男		012	
	女			
バドミントン部	男		013	
	女			
ボウリング部	男		014	
	女			
ゴルフ部	男		015	
	女			
柔道部	男	○	116	
剣道部	男	○	117	
	女	○		
弓道部	男		118	
	女			
空手道部	男		119	
	女			
相撲部	男		120	
合気道部	男		121	
	女			
少林寺拳法部	男		122	
	女			
馬術部	男		123	
	女			
ボクシング部	男		124	
フェンシング部	男		125	
	女			
レスリング部	男		126	
洋弓部	男		127	
	女			
ライフル射撃部	男	○	128	
	女	○		
陸上競技部	男		230	
	女			
水泳部	男	○	231	
	女	○		
スキューバダイビング部	男		232	
	女			
スキー部	男		233	
	女			
スケート部 (アイスホッケー部門)	男	○	234	
	スケート部 (フィギュア部門)	男		○
		女		○
ヨット部	男		235	
	女			
ボート部	男		236	
	女			
自転車競技部	男		239	
	女			
山岳部	男		341	
	女			

工学部学生会体育部所属部 (23団体)

団体名	性別	強化指定	コード
準硬式野球部	男		501
サッカー部	男		502
ラグビー部	男		503
バスケットボール部	男		504
バレーボール部	男		505
ハンドボール部	男		506
硬式庭球部	男		507
	女		
ソフトテニス部	男		508
	女		
卓球部	男		509
	女		
バドミントン部	男		510
	女		
ゴルフ部	男		511
	女		
アメリカンフットボール部	男		512
ソフトボール部	男		513
柔道部	男		611
剣道部	男		612
	女		
弓道部	男		613
	女		
空手道部	男		614
	女		
躰道部	男		615
	女		
合気道部	男		616
	女		
少林寺拳法部	男		617
	女		
洋弓部	男		618
	女		
スキー部	男		721
	女		
山岳部	男		823
	女		

※強化指定の欄に○印が付いている部は強化指定種目です。



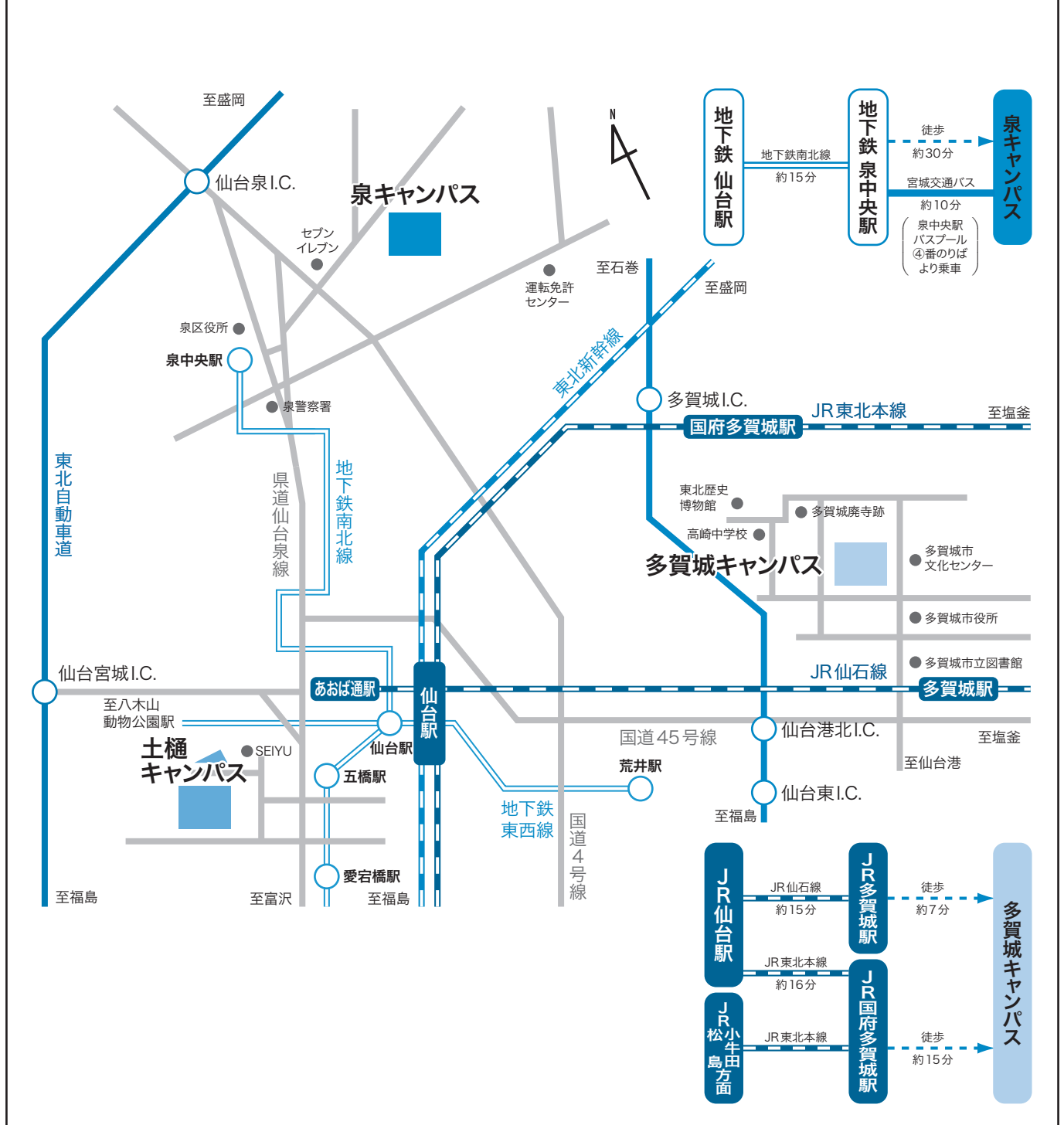
# 試験場案内図

文学部・経済学部・経営学部・法学部・教養学部  
(全学部のスポーツテスト)

泉キャンパス

工学部 (スポーツテストのみ泉キャンパスで行います)

多賀城キャンパス



東北学院大学 アドミッションズ・オフィス  
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1  
TEL: 022-264-6455 FAX: 022-264-6377